

6 センターサイディング標準施工法

6-1 施工手順

手順① 鉄骨下地の確認

<横張り、縦張り共通の確認ポイント>

- 鉄骨下地は柱を□-100×100×2.3mm以上、その他の下地をC-100×50×2.3mm以上またはC-100×50×20×1.6mm以上とします。
- 鉄骨下地の間隔は610mm以下とします。また、鉄骨下地の不陸は1.5mm以下にします。
(下地の不陸が大きい場合に本体表面に波うちが現れることがあります。外装材としての機能に影響はありませんが、美観を低下させる要因となりますので、特にご注意ください。)
- 出隅・入隅には□-100×100×2.3mm以上またはC-100×50×20×1.6mm以上ダブルを使用します。
- 開口部のまわりにはC-100×50×20×1.6mm以上があることを確認してください。

<本体が横張りの場合の確認ポイント>

- 金属胴縁15を垂直方向に配置します。

<本体が縦張りの場合の確認ポイント>

- 金属胴縁15を水平方向に配置します。

手順② 通気土台水切の取り付け

- 通気土台水切は、胴縁組みの前に土台へ水平に留め付けます。

手順③ 防水紙の施工

- 防水紙および両面防水テープを必ず使用してください。
センターサイディングを使用した外壁の防水は、本体・防水紙・防水テープの各防水機能によって確保されます。強風・大雨時には、雨水が本体裏面に浸入する場合がありますので、必ず防水紙・防水テープを施工してください。
- 防水紙は横張りを原則とし、下から上へと張り上げます。
- 通気層をふさがないように、たるみや剥がれがないようにします。
- 防水紙を下地に留め付ける際は、ステープルや両面防水テープまたは透湿防水シート用スプレーのりを使用します。
- 上下の重ね代は90mm以上、左右の重ね代は150mm以上とします。
- 防水紙は土台部から張り上げます。土台部の水切立ち上がり下端から20mm程度の位置まで防水紙を重ね、両面防水テープで圧着します。(通気土台水切は水切についている両面テープに密着させます。)
- 出隅・入隅部などの隅角部は、特に隙間、破れなどの防水上の欠陥を生じさせないようにしてください。
出隅部では両方向とも鉄骨下地幅程度重ねて留め付け、入隅部では両端の鉄骨下地があるところに留め付けます。
- 防水紙が破れた場合は張り直すか補修をしてください。
- 開口部まわりや換気口・配管まわりなどは両面防水テープで密着させます。また、サッシのツバと防水紙も両面防水テープで密着させます。

